



NEC NEAX 2400 IMX TIMG 連動のアプリケーションノート

これは、TIMG ユニットを使用して Cisco Unity Connection とシリアル SMDI 連動を行うために NEC NEAX 2400 IMX 電話システムをプログラムするためのアプリケーション ノートです。TIMG ユニット（メディア ゲートウェイ）を設定し、Cisco Unity Connection に連動を作成する方法については、[第 3 章「Cisco Unity Connection との Avaya Definity G3 インバンド TIMG 連動の設定」](#)を参照してください。

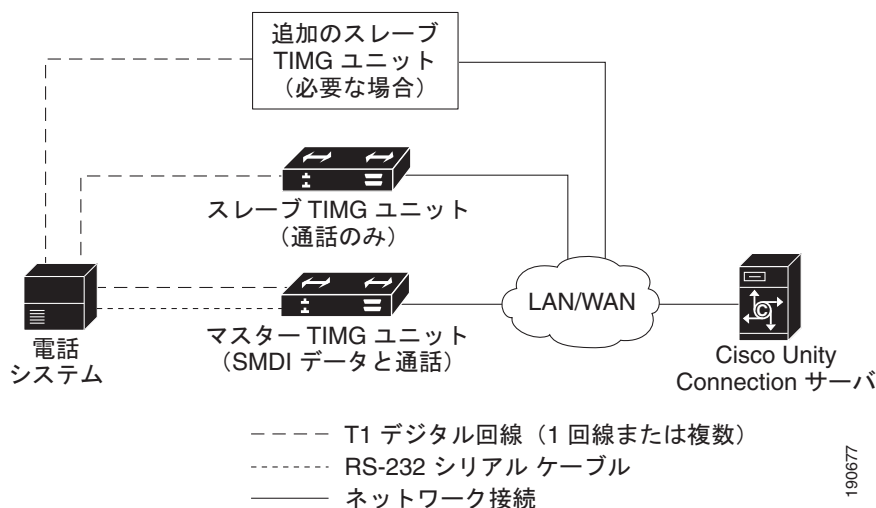
この付録は、次の項で構成されています。

- 「ネットワーク トポロジ」(P.B-1)
- 「要件」(P.B-2)
- 「TIMG 連動のための NEC NEAX 2400 IMX 電話システムのプログラミング」(P.B-2)

ネットワーク トポロジ

図 B-1 に、TIMG ユニットを使用したシリアル SMDI 連動に必要な接続を示します。

図 B-1 シリアル SMDI TIMG 連動の接続



この連動の詳細については、[第 1 章「概要」](#)を参照してください。

要件

電話システムは次の要件を満たしています。

- NEC NEAX 2400 IMX 電話システム
- MCI 機能 II
- 24 ボイス メッセージ ポートの各グループに対して 1 枚の T1 デジタル トランク インターフェイス カード (カード番号 PA-24DTR/DLI)

電話システムをプログラムする前に、T1 デジタル トランク インターフェイス カードに対する次の要件に注意してください。

- ファームウェアは T1 ラインサイド シグナリングをサポートするように設定する必要があります。
- カードを検証しておく必要があります。

TIMG 連動のための NEC NEAX 2400 IMX 電話システムのプログラミング

次のプログラム手順は、例として挙げたものです。使用する電話システム固有のプログラミングは、その設定によって変化します。



注意

電話システムをプログラムするときは、通話に回答できない Cisco Unity Connection のボイス メッセージ ポート ([コールに回答する] に設定されていないボイス メッセージ ポート) には、通話を送信しないようにしてください。たとえば、ボイス メッセージ ポートが [メッセージ通知を実行する] だけに設定されている場合は、そのポートに通話を送信しないでください。

TIMG 連動での NEC NEAX 2400 IMX 電話システムのプログラム例

1. UCD 通話情報を MCI に送信するために、AUCD コマンドを使用して電話システムをプログラムします。適切なテナントと UCD パイロット番号に対して、値「0」を「MCI Data Transfer」フィールドに割り当てます。
2. ASYD 設定をプログラムするためにプログラミング システム データ テーブルを使用します。各ビットは、ASYD 設定に表示される 16 進数の一部です。16 進数を 2 進数に変換して、個別の設定を決定します。

表 B-1 システム データのプログラミング

システム	索引	ビット	値	説明
1	17	b4	1	アテンダント コンソールへのリリース (ブラインド) 転送
	28	b0 ~ 4	0	ガード タイマー不要
		b5	1	MCI によって制御される MWI
	29	b1-7	0/1	いいえ/はい: MCI 出力の I/O ポートを割り当てます。 ポート 1 = b1、ポート 2 = b2、等
	34	b1 ~ 4	0	出力をパリティなし、1 ストップ ビットに設定します。
	60	b3	0	UCD キューイングが必要です。
	63	b0	1	稼働中の端末に対するリリース転送
	69	b0	1	リコールなし、無応答時にコール転送を実行します。
	70	b0	1	アテンダント コンソールへの転送時に送信先番号を表示します。
	78	b0	1	発番号表示有効
		b1	1	着信側端末のステータス表示有効
	238	b0-7	0	ランプ点滅速度
	246	b3	0	MCI 拡張を通常に設定します。
400	b2	1	MCI に送信される発番号情報	
2	6	b0	1	UCD グループへの終端時に MCI 稼働中
	7	b1	0	アテンダント コンソールへの終端時に MCI 稼働停止

3. プログラミング システム データのローカル データ テーブルを使用して、ASYDL 設定をプログラムします。各ビットは、ASYDL 設定を表示する際の 16 進数の一部です。16 進数を 2 進数に変換して、個別の設定を決定します。

表 B-2 プログラミング システム データのローカル データ

システム	索引	ビット	値	説明
1	641	b1	0/1	0/1: MCI/IMX 端末番号/電話番号
	832	b0-7	00-FD	MC に接続されたノードの FPC を割り当てます。
	833	b0	0	MCI によって制御される MWI

4. ASDT コマンドを使用して、次の設定を入力することで最初の TIMG ユニットにある最初のボイス メッセージ ポートに接続するポートを追加します。

表 B-3 追加ポートの ASDT コマンド設定

フィールド	設定
TN	テナント番号を入力します。通常は 1 です。
STN	端末番号を入力します。
TEC	11 と入力します (ポート タイプを「ボイス メール」に設定します)。
RSC	デフォルト (全ルート オプション) を受け入れるか、別のルート サービス クラスを入力します。
SFC	デフォルト (全オプション) を受け入れるか、別のサービス機能クラスを入力します。

5. WRT フィールドに Y と入力して、Enter キーを押します。
6. TIMG ユニットのボイス メッセージ ポートに接続する残りの全ポートについて、手順 4. および手順 5. を繰り返します。
7. 残りの全 TIMG ユニットに対して手順 6. を繰り返します。
8. ASHU コマンドを使用して、次の設定を入力することで UCD ハント グループ アクセス番号 (実際または仮想の内線番号) を追加します。

表 B-4 ハント グループ アクセス番号を追加するための ASHU コマンド設定

フィールド	設定
TN	テナント番号を入力します。通常は 1 です。
STN	アクセス番号を入力します (ハント グループ用)。
Edit STN	TIMG ユニットの各ボイス メッセージ ポートの内線番号を入力して、各内線番号の後ろで Enter キーを押します。

9. [Set] をクリックします。